

坂出市ブロック

「交流の里 おうごし」

～自然と共生し、世代をつなぐ交流拠点をめざして～

■ 1日目 オリエンテーション⇒王越町ツアー⇒活動発表と意見交換会⇒分科会交流会⇒夜なべ談義
□ 2日目 里海ツアー⇒気まぐれカフェ GOSHにて意見交換⇒東山魁夷せとうち美術館・瀬戸大橋記念館

群馬県企画部地域政策課 安藤 淑恵

私の参加した第3分科会坂出市ブロックは、廃校となった小学校を活用し、世代をつなぐ交流拠点として地域づくりの方策を探る分科会でした。

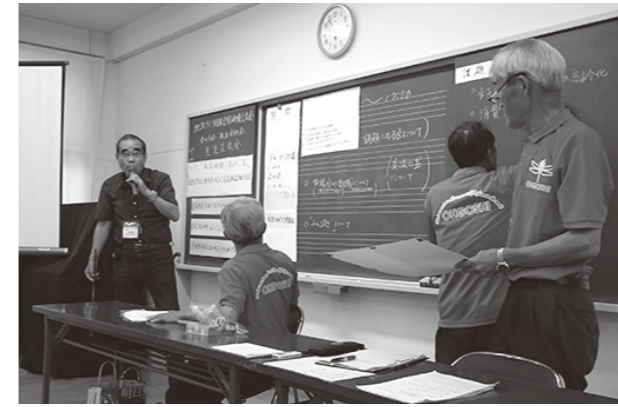
坂出市は、香川県のほぼ中央に位置し、瀬戸大橋の四国側玄関口に当たります。かつては塩田が広がり全国有数の塩のまちとして栄えていましたが、塩田を廃止して工業地帯を造成し、大型コンビナートを誘致して新たな産業基盤としています。

坂出駅に到着し驚いたことは、瀬戸大橋を渡るJR瀬戸大橋線の玄関口であることもあり、駅舎のデザインが斬新で高級感を醸し出している立派な建物でした。しかし、駅周辺は地方の商店街の例に漏れず、道路に面した店舗でさえシャッターが下りたままの店舗が目につき、駅舎だけが町並みから浮いており、この地が抱える地域課題に共感しました。

分科会の会場兼宿泊先である「交流の里おうごし」は、平成23年3月末をもって廃校となった旧王越小学校を利活用し、「青少年の新しい活動の場」「地域の中核施設としての賑わいづくりや交流の場」としての機能を有し、今年4月に誕生したばかりの宿泊型野外活動施設です。宿泊室には冷暖房器具がなく、浴室にはシャワーのみで浴槽がない等、酷暑極寒の季節の利

用は少々課題がありますが、施設内の所々に卒業生のメッセージが残され、黑板やロッカーも当時のままで、地域に愛され大切に使用されている素晴らしい施設でした。私たちが宿泊した日は、猛烈に暑い日であったため、当初は宿泊室に布団を敷きましたが、あまりの暑さに耐えきれず、皆で協力して図書室へ寝具を移動し、冷房の中で就寝しました。これもまた思い出深い経験となりました。

開会式後は、バスに乗り王越町ツアーに出掛けました。「乃生岬」から瀬戸内海を眺めると、対岸に岡山県が見え、手前に小槌島、奥に大槌島と二島の景色が非常に美しく、まさに絶景でした。五色台大崎山展望台に移り、かつて全国有数の塩のまちに残る塩田を展望台から眺め、その後「瀬戸内海歴史民俗資料館」にて漁撈用具や船大工用具など豊富な収蔵資料展示を見学し、瀬戸内海沿岸の歴史、文化を感じることが



できました。

「交流の里おうごし」に戻り、「王越町共に生きるまちづくり推進協議会」が中心となり3つのテーマの活動発表が行われ、課題と解決策についてグループ討議を行いました。

- ① 活性化を目指していきいき活動を～少子高齢化と過疎対策に変革を～
- ② 野外活動型研修施設「交流の里おうごし」(廃校活用)を拠点に
- ③ 安全安心な町づくりを目指して

討議は非常に活発に行われ参加者から沢山の提言がありました。参加者の地域づくりへの豊富な知識と熱心な思いに胸が熱くなりました。

- 王越町のビジョンを見つける努力が必要
- 地場産業・経済を活性化させるためには消費を生む仕掛けが必要
- 町の経済は、いかに町外に出さずに、出来る限り町内でのマーケティングを考えることで、地域経済を守れるのではないか。

分科会交流会及び夜なべ談義では、協議会の婦人部の方々が腕によりを掛けて作っていた郷土料理の数々を頬張りながら、予定していた時間を遙かに超え、夜遅くまで地域づくりに対する熱い思いを語り合いました。

2日目は、6時に起床し、早朝の里海ツアーに徒歩で出掛けました。昨夜から続く雨で畦道はぬかるんでおりましたが、皆で小さな黄色い

傘を差し、「とんぼランド」の見学や海岸の生物観察を行いました。とんぼの生息地の保護を通して、地域の多くの方々が環境づくりに取り組んでいました。

その後、「気まぐれカフェGOSH」にて地域おこしを目指し、移住した片岡さん(高松市出身)が経営するカフェにて、移住に至った経緯の話を聞き、参加者の王越での体験を振り返り、分科会の感想を述べました。

2日間を通し、坂出市王越町の地域づくり団体の皆様や坂出市役所の皆様からの熱烈な歓迎とおもてなしを受け、また、婦人会の皆様の贅沢な手料理を味わうことができ、感謝の言葉が尽きません。全国各地から集まった団体の皆様と地域づくりへの思いや地元の話語り合い、楽しい時間を過ごすことができました。「交流の里おうごし」は廃校となった小学校を十分に活用し、地域の活性化へ繋がる立派な施設へと生まれ変わっています。まだスタートしたばかりの施設ですが、年間を通じた施設の活用策を見つけ活動を続けていけば、益々地域住民の大切な存在になると思います。この地域を愛し、豊であって欲しいと願う地域の方々の熱い思いを肌で感じた2日間でした。この貴重な経験と皆様から頂いた熱量を、今後に生かしていくとともに、分科会で出会った方々との繋がりを大切にしていきたいと思っています。

